

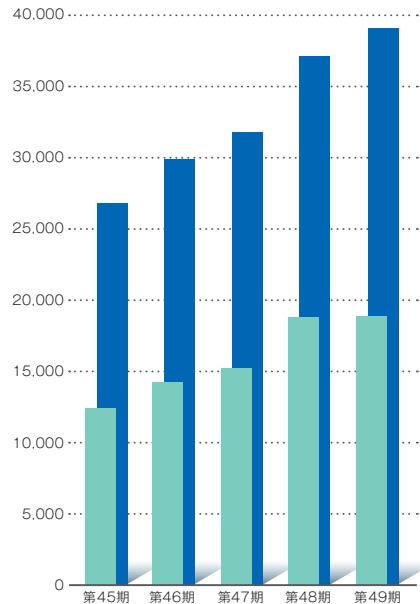
業績ハイライト(連結)

区分	期別	第45期 (平成26年3月期)	第46期 (平成27年3月期)	第47期 (平成28年3月期)	第48期 (平成29年3月期)	第49期 (平成30年3月期)
売上高(百万円)		26,747	29,844	31,803	37,194	39,065
経常利益(百万円)		3,244	3,793	4,205	5,208	5,318
親会社株主に帰属する 当期純利益(百万円)		2,051	2,273	2,567	3,087	3,361
1株当たり当期純利益(円)		184.56	204.54	230.97	277.78	302.46
総資産(百万円)		47,743	51,906	52,958	55,537	57,629
純資産(百万円)		21,419	23,101	24,862	27,121	29,633

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式2株につき1株の割合で株式併合を行っております。第45期の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

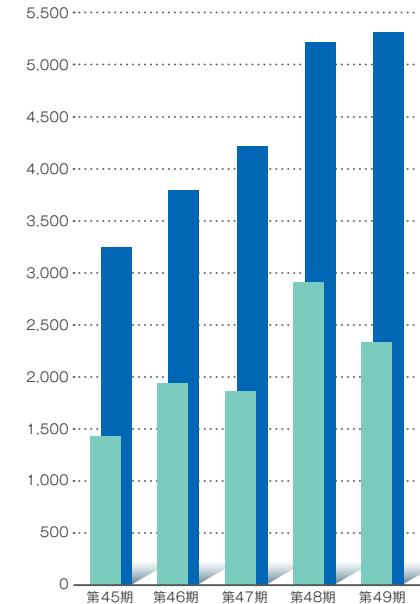
売上高の推移

(単位：百万円)



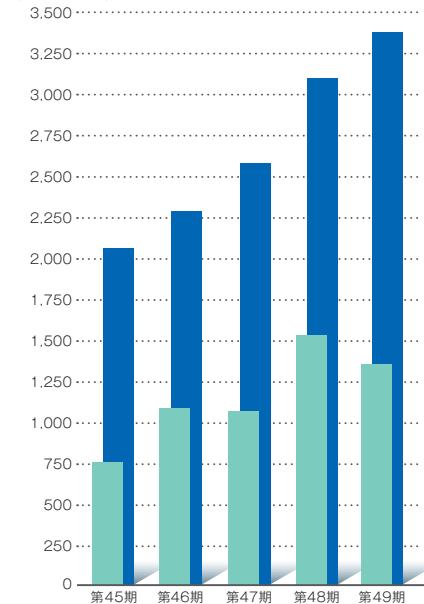
経常利益の推移

(単位：百万円)



親会社株主に帰属する 当期純利益の推移

(単位：百万円)



免責条項 本報告書で記述されている通期の業績見通しなど将来についての事項は、予期しない経済状況の変化などさまざまな要因の影響を受けるため、その結果については当社が保証するものではありません。

各事業の概況

ユニットハウスのレンタル

1日からでもレンタル可能。
建設現場からイベント、仮設住宅まで。
必要な期間に最適な空間を提供します。

ユニットハウスのレンタルについては、昨年は熊本地震における応急仮設住宅をはじめとする復興工事等がありましたが、東京五輪の関連工事や都市部の再開発など大型案件の受注活動に積極的に取り組むことにより、出荷棟数・稼働棟数ともに高い水準で推移しました。また、デザイン性や機能性をさらに高めることで、イベントや建替時の仮施設など本建築市場におけるレンタル受注拡大に努めました。

これらの結果、当期のレンタル料収入は20,603百万円(前年同期比6.1%減)となりました。

今後も、建設現場向けのシェア拡大と新たなレンタル需要の創出を目指し、新規顧客獲得に向けた営業を強化していきます。



イベントブース



建設現場事務所

ユニットハウスの販売

オフィス、店舗、教育・保育施設、倉庫など
全国のさまざまなシーンで
ユニットハウスが活躍しています。

ユニットハウスの販売については、3階建てや大型連棟が可能な新製品「MS1」が本格的に導入されたことにより、店舗・一般事務所といった本建築において大型物件の受注が大幅に増加しました。旺盛な需要に対応するため、全国的に設計・施工協力会社のネットワーク拡充に努め、受注体制をさらに強化することで、より一層の収益の拡大に努めました。

これらの結果、当期の販売売上高は17,945百万円(前年同期比23.1%増)となりました。

今後も、市場ニーズに合わせた製品開発に取り組むとともに、展示販売の強化や販路の拡大を推進していきます。



ショールーム



ガレージ